

近には、豹、狼、熊の類少なからず。雪は谷間に於て積むこと約一尺五寸、山上三尺餘、附近の山雪、終歲消ゆること無く、實に太古よりのものと云ふ。

住めば都

斯る深山幽谷の間に棲める彼の八戸の人心、果して如何なるや。さるにても住めば都の趣味あるか。前後は共に無人の地、俯仰總て是れ山是れ谿、況んや四時積雪に繞らさるゝをや。言ふこと勿れ、彼等は稍々獸類に近からずやと。其の猫額大の耕地は、即ち彼等が生命にて、此の耕地在つて以て彼等あるを思はゞ、彼等の思想慾望の程、蓋し察するに餘り有るべし。思想淺く慾望薄き彼等は、其の實際の如何は知るに由なきも、一見質朴單純なる、恰も嶺上の雪の如く、又太古の人なるが如し。

## 五 是より無人の境に入る

二十三日午前九時二十分發、八里餘の行程を以て、午後三時吐什トシユク塔ク希クに着す。

途上依然溪流を渡る多きも、溯るに従ひ水量次第に減少せし爲め、騎行極めて容易と爲れり。路は尙ほ岩石道を繼續し、且つ傾斜緩なるに因り、大に勞苦を感せず。しも、是日より全く無人の境と爲れり。午後忽爾冷氣を催し、夜に入りて小雪積る

トシユク  
ター  
ン